



仙北市の魅力を伝えるため、ただいま奮闘中

4月11日
JR上野駅

神代中学校修学旅行隊が観光PR JR上野駅で仙北市の魅力を伝える

4月11日、JR上野駅構内で神代中学校修学旅行隊が、仙北市の物産と観光PRを行いました。

この活動は「ふるさと教育」の一環として、地元の魅力を再認識しながら、コミュニケーション能力を養うことを目的としたものです。

大勢の通勤者を目の当たりにして、最初は恐るおそるでしたが、時間がたつにつれ積極的になり、外国の旅行者にも声をかけられるようになっていました。

観光PRは、JA秋田おぼこ提供の米、自作の樺のしおり、観光パンフレットが入った袋を渡しながら話をし、受け取った方の中には大変喜んでくれる方もいて、充実した活動となりました。

4月6日
仙北市

火災予防運動 駆け付け訓練 火の取り扱いにはご注意ください

4月6日から12日まで実施された「春の火災予防運動」初日、仙北市管内3か所で火災の発生を想定した駆け付け訓練を実施しました。

この訓練は、火災が発生したことを想定し、迅速に災害場所に駆け付けるために行っています。



市内3か所で行われた駆け付け訓練（写真は角館町の健康管理センター隣で行われた訓練）

4月15日
仙北市

「せんぼく花紀行」「みちのくの小京都『角館』」 オリジナルフレーム切手が販売開始

4月15日、日本郵政株式会社東北支社（本間幸仁支社長）は、オリジナルフレーム切手の発売を記念して、仙北市へ切手を寄贈しました。

今回寄贈されたフレーム切手は、刺巻のミズバショウや西木町のカタクリを中心に、駒ヶ岳のコマクサ、ユキツバキやゼンソウなど、観光客や写真家の方に喜ばれる、仙北市に咲く花々選んで題材とした「せんぼく花紀行」

季節の花や角館の風景を上げたフレーム切手で仙北市をPR。



仙北市、大仙市、横手市、美郷町の郵便局で販売。（一部の簡易郵便局を除く。「みちのくの小京都『角館』」は県内の8局でも発売）

仙北市のできごとをおとどけ

ちいきのわだい

4月19日
角館榊細工伝承館

色とりどりの展示品が魅了 「打掛展―諸道具と春の絵画―」

角館榊細工伝承館では、4月19日から特別展「打掛展―諸道具と春の絵画―」を開催しています。

館内2階の展示室には、江戸後期から大正時代にわたる花嫁衣装や、櫛・簀などの髪飾りといった女性が使用した道具類が展示されているほか、春らしい絵画などの諸資料も併せて展示されています。

訪れた皆さんは、色とりどりの打掛や貴重な展示品の数々ををじっくりと眺めていました。



華やかな展示品をご覧ください。市民の方は無料。5月25日（日）までの開催

4月21日
角館交流センター

仙北市のイメージアップに期待 西木正明さんを観光大使に任命

4月21日、角館交流センターで開催の国民文化祭実行委員会開会の前に、



（社）日本ペンクラブ常務理事などを務められる西木さん。仙北市のPRにご協力をいただきます。

実行委員会顧問を務める西木正明さんへ、仙北市観光大使への任命式が執り行われました。式では門脇市長から観光大使任命証と観光大使の名刺などが西木さんに手渡されました。

観光大使のたすきを掛けた西木さんは「観光大使として仙北市のためにがんばりますので、皆様のお力添えをよろしく願います」とあいさつし、集まった皆さんからは大きな拍手が送られていました。

4月16日
市役所田沢湖庁舎

宿泊施設を一時避難所として提供 旅館ホテル組合仙北支部と協定書を交わす

秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合仙北支部（堀田雅人支部長）が仙北市と「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」を結びました。地震など災害時に避難が必要になった場合、組合に加盟する宿泊施設を一時避難場所として提供されます。

4月16日、仙北市役所田沢湖庁舎で行われた締結式で「災害発生時に心配される、避難所不足の解消にご協力いただきありがたい」と門脇市長が感謝の言葉を述べました。堀田支部長も「この協定により災害発生時の避難者の受



市民と観光客の安全確保のための協力体制がスタートしました

入ルールが明白になり、かつ円滑な支援ができ、市内外に安全・安心をアピールできる」とあいさつしました。

3月20日
東京都内

地域の公衆衛生向上に長年尽力 赤倉羊子さんに厚生労働大臣表彰

長年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、功績が特に顕著な個人や団体に送られる公衆衛生事業功労



長く地域に貢献し、現在もご活躍の赤倉さん

者がこの度決定し、3月20日に授賞式が東京都で行われました。仙北市から赤倉羊子さん（西木町）が選ばれ、厚生労働大臣から表彰状が贈られました。

結核予防婦人会の役員として結核予防の啓蒙活動に取り組み、地域の公衆衛生の向上に貢献された赤倉さんは、現在も秋田県結核予防婦人会連合会副会長として活動が続いています。厚生労働大臣からの賞状を前に「これからも皆さんと協力し、地域のために活動を進めていきたい」と話しました。